

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

▶ カリキュラム ◎:必修

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	応用	発展	

人と社会にアプローチし、一人ひとりの幸せな生活を実現することができるための4つの力を「講義」「演習」「実習」によって獲得する。そして、社会福祉の理論を「理解する」だけでなく、社会福祉の実践場面で「行動する」ことができる力を身に付ける。

1年次では主に社会福祉の基盤となる知識と技能について学びます。そして、人と社会を結びつけ、人々の生活上の問題を理解することができるための力を身に付けます。

2年次では主に人間の尊厳の価値を踏まえて社会福祉の学びの対象となる人と向き合い、人と社会を支えるための思考方法や、現実のものとして活用できるように判断することができる力を身に付けます。

3年次と4年次では主に社会的な支援が必要な問題を発見し、修得した能力を主体的・創造的に活用して、さまざまな人たちと協働しながら解決に向けて取り組むことができる力や社会福祉の価値、原理、真理について自律的に探求することができる力を身に付けます。

基本科目	基本科目	基本科目
◎社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ 子ども家庭福祉論Ⅰ・Ⅱ 心理学理論と心理的支援 障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ	社会保障論Ⅰ・Ⅱ 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 福祉サービスの組織と経営 キリスト教社会福祉論 社会理論と社会システム 司法福祉論	医学一般Ⅰ・Ⅱ 医療福祉論 権利擁護と成年後見制度 公的扶助論
方法・技術科目 ソーシャルワークの基礎と専門職Ⅰ・Ⅱ ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	方法・技術科目 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ 社会福祉調査法 介護概論 手話 点字	方法・技術科目 ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ・Ⅳ ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ・Ⅱ
技術演習・実習科目 ソーシャルワーク演習Ⅰ	技術演習・実習科目 ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ 海外福祉実習	技術演習・実習科目 ソーシャルワーク演習Ⅳ・Ⅴ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ・Ⅲ ソーシャルワーク実習Ⅲ ソーシャルワーク実習指導Ⅵ・Ⅶ 福祉情報演習Ⅰ・Ⅱ
専門展開科目 スポーツ衛生学 身体動作学 (生命倫理学) (ボランティア活動論)	専門展開科目 社会政策論 レクリエーション活動論 臨床心理学 国際福祉論 自然体験活動論	専門展開科目 臨床社会心理学 発達心理学Ⅰ 組織マネジメント論 ジェンダー論
専門演習 ◎基礎演習	保育に関する科目 保育原理 保育者論 乳児保育Ⅰ・Ⅱ 子どもの保健 保育内容総論 カリキュラム論 発達心理学Ⅱ 子どもの理解と援助 音楽基礎 幼児と表現(造形) 子育て支援	保育に関する科目 子どもの食と栄養 保育内容(言葉) 保育内容(人間関係) 教育の理念と歴史 保育内容(環境) 保育内容(表現) 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ 音楽(合奏及び合唱) 幼児と表現(音楽) 幼児と言葉 幼児と健康 保育内容(健康) 発達心理学Ⅱ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ 保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実践演習
		専門演習・卒業論文 ◎専門演習Ⅰ ◎専門演習Ⅱ 卒業論文

専門領域科目	1年次	2年次	3・4年次
	障害者スポーツ論 障害者スポーツ実技	社会的養護Ⅰ 学校ソーシャルワーク論 子どもの健康と安全 精神保健学Ⅰ・Ⅱ 精神保健福祉の原理Ⅰ ディスアビリティ・スタディーズ(障害学) 介護予防トレーニング演習	社会的養護Ⅱ 障害児保育論 障害児心理学 障害児教育論 精神医学Ⅰ・Ⅱ 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論 精神保健福祉の原理Ⅱ 高齢者の心理とケア 家族福祉論 福祉情報ネットワーク論 福祉環境論 福祉工学Ⅰ・Ⅱ

()の科目は共通科目に移行される可能性あり

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

教員紹介

安部 計彦 教授	子ども家庭福祉	孔 英珠 准教授	社会調査
河谷 はるみ 教授	社会保障論	平 直子 准教授	精神保健福祉分野におけるソーシャルワーク
倉田 康路 教授	社会福祉学、高齢者福祉論	田中 康雄 准教授	組織マネジメント
中馬 充子 教授	スポーツ科学、応用健康科学	田原 亮二 准教授	保健体育、身体動作学
山崎 先也 教授	保健体育、運動疫学、環境生理学	萩沢 友一 准教授	地域福祉
山根 明弘 教授	動物生態学	山田 美保 准教授	ソーシャルワーク理論、医療ソーシャルワーク
山本 佳代子 教授	保育ソーシャルワーク	中村 秀郷 講師	精神保健福祉、司法福祉
井手 順子 准教授	医用工学・コンピューターネットワーク		
倉光 晃子 准教授	障害者福祉		

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

倉光 晃子 准教授

ゼミテーマ 困難に寄り添い支える障害者福祉

「障がい」は病気や事故等予期せぬ事に伴って生じ得る実は身近なもの、しかし社会環境によって障がいの在り方は変えられるものです。障がいによって生じる社会生活上の困難を捉え、どうすれば豊かな生活を実現できるのか。本ゼミでは、多様な障がい種による社会生活上の問題に関して、論文講読、フィールドワーク等で関心のあるテーマを研究し、プレゼンテーションを行い、障害者福祉の理解を深め、課題発見や解決能力を培います。



ZOOM IN カリキュラム

医療福祉論

医療福祉論では、保健医療の制度やサービス提供の仕組みについて日本社会の状況と関連付けながら学びます。また、病気やケガの発生～治療後における患者・家族の生活がどのようなものかを考え、保健医療ソーシャルワーカーの役割や他職種との連携について理解を深めます。

精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ

精神保健福祉は精神保健・医療と精神障害者福祉を一体的に捉えた用語で、本講義では精神保健福祉における理念、視点や関係性等の基礎的な枠組みを学びます。また、アクティブラーニングを取り入れ、精神障害者の基本的な権利の保障と社会正義の実現を担う専門職として精神保健福祉士の存在意義や役割について考えていきます。

主なゼミテーマ

子どもと家族の福祉
社会保障再考
社会福祉の諸問題と解決にむけての方策の検討
障害者福祉
司法福祉
終末期ケア、ケアの担い手、ケアの配分と協働
精神保健福祉
実学的な地域福祉を経験的に学習する
福祉領域における運動・スポーツ研究～福祉領域における運動とスポーツの可能性を探る～

STUDENT'S VOICE

人と社会への思いを これからの福祉を支える力に。

母が福祉関係の仕事をしており、幼い頃から将来は人を支える福祉職に就くことを意識していました。1年次には、九州北部豪雨の災害ボランティアに参加し、災害時における地域コミュニティの重要性を実感。ゼミの研究テーマを「西新校区の地域福祉の在り方」に決めたくっかけとなりました。現在は、地域の方々とお話を聞きながら、これからの地域社会福祉の在り方についてグループで話し合いを進めています。本学科で積み重ねた知識と技術、多くの人と関わる中で育まれた人間性を、今後の福祉のために活かしたいです。

人間科学部社会福祉学科 4年 (2021年12月時点)

近藤 優衣

(福岡県・香住丘高等学校出身)

私が思う
社会福祉学の面白さ
人の人生、生き方に
寄り添うことは、自分の
生き方を考えるきっかけになる

